

エクステンションセンター 中野校開校式 オープンカレッジ開講式

Schedule

式次第

日時

2014年4月4日(金) 9:00~11:30 (開場8:30)

場所

早稲田大学 大隈講堂

次第

- 9:00~ 式辞 早稲田大学総長 鎌田薫
9:10~ 修了証書授与・紺碧賞授与
9:40~ 開講の辞 エクステンションセンター所長 加藤哲夫
9:55~ 記念合唱 早稲田大学グリークラブ
10:30~ 記念講演 講師:早稲田大学教授 中島国彦

「場所の想像力」をめぐる一文学作品を読む楽しみー

内容

文学作品を読む楽しみの一つに、そこに描かれた特定の「場所」、印象的な「風景」を自分で思い浮かべてみる、というあり方があります。東京・新宿・中野といった固有名詞が付されることもあります、どこにもない「場所」が言葉の奥から生まれてくることもあります。実際の「風景」を言葉で定着することはかなりの冒険ですが、かえて言葉にすることで、実際よりも生き生きと世界が感じられることさえあります。感性と知性によって、言葉を通して意味付けられることで、「風景」は実体を持つからです。「風景」は、歴史の、そして何よりも人間の想像力の産物です。作品を読みながら、わたくしたち読者は、想像力を働かせて「場所」「風景」を見つめます。すると今度は、「場所」「風景」が一つの生き物として力を持ち、わたくしたちに迫って来ます。いくつかの代表的な日本の近現代の文学作品を通して、こうしたメカニズムの一端を解明してみたいと思います。



中島国彦 (なかじま・くにひこ)

略歴:

1946年 東京生まれ。1968年 早稲田大学第一文学部卒業。早稲田大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程修了。早稲田大学系属早稲田実業学校教諭、早稲田大学文学部助手、専任講師、助教授を経て、1984年 早稲田大学文学部教授(のち、文学学術院教授と呼称変更、現在に至る)。その間、第二文学部学部長、エクステンションセンター所長を務める。オープンカレッジ講座では、『明治文学の面白さ』『漱石文学の世界』等を担当。博士(文学)。公益財団法人日本近代文学館専務理事。

研究分野:

日本近代文学

著書:

『近代文学にみる感受性』(1994、筑摩書房、やまなし文学賞)、『夏目漱石の手紙』(共著、1994、大修館書店)ほか。岩波書店版『白秋全集』『荷風全集』編集委員。